

【答弁】 近藤隆則 市長

災害に備えた対策は、「災害対策基本法」に「責務」として定められています。この法律に基づき、「高梁市地域防災計画」を策定して自然災害などへの対策をまとめています。具体的な災害としては、大雨による河川の水害や土砂災害、地震や大規

平成30年7月豪雨災害からの対策として「ハザードマップ」の見直しをされていると思いますが、水害以外の大規模災害に備えた対策はありますか。また、平成30年7月豪雨災害の記憶を風化させないために、後世に伝えていく方法は何かありますか。

私たちは、高梁市のハザードマップを参考に独自のハザードマップを作成しました。避難場所のイメージがしやすいうような等高線を無くして航空写真にしたり、避難所の写真を多く載せたりと工夫しました。このような変更を加えることについての検討しているハザードマップの変更点などがあれば教えてください。

市では、県から示された被害が想定される区域の情報を基に、令和3年度までに新しいハザードマップを作成する予定で、危険区域や避難所の位置などの情報が分かりやすいハザードマップを作りたいと考えています。

模火災などの事故災害を想定しています。また、災害時の応急対策や避難、県や他市町村などの連携や応援などについても定めています。

平成30年7月豪雨災害の記録は今後まとめていく予定です。昭和47年豪雨災害の記録も保存しています。過去にも大規模な水害があり、約40年の周期で起きています。

高梁高校の皆さんが作られたハザードマップは非常に有効だと思えます。市内には市が指定する避難所が約120カ所あるため、地域の皆さんで情報共有をしていただき、安全な場所へ避難していただくことが重要だと考えています。

ハザードマップについては、岡山県が河川の浸水想定区域や土砂災害の警戒区域の見直しを行っており、令和2年度に新しい指定区域が示される予定となっています。

高梁市の防災対策

高梁高校2年 早川 明来

高梁市高校生議会

高校生が議場で市政に関する質問を行うことで、まちづくりを考えるとともに、地方自治への関心と理解を深めることを目的に「高梁市高校生議会」を初めて開催しました。当日は市内5つの高校から9人が参加し、市長が答弁を行いました。

なお、高校生議会の様子は「高梁市行政放送」で順次お伝えします。
※紙面の都合上、質問・答弁については一部抜粋・要約して掲載しています。

☎ 学校教育課 ☎ (21) 1508



市ホームページ

高校生議員の声

- 議場で質問できたことはとても良い体験となりました。また、他校の生徒の質問を聞くことで、より高梁市に愛着を持つことができました。
- 質問に丁寧に答えていただきありがとうございました。
- 高梁市のみならず、市政への関心が深まりました。
- とても緊張しましたが、今後の人生で二度とできないような経験になり、良い勉強ができました。高梁市がこれまで以上に暮らしやすくなることを願っています。
- 高校生の提案によって市政を動かすことができれば、さらに意味のあるものになると感じました。
- 市長や高校生議員の皆さんが、高梁市を良くしたいという強い思いを持ってしていると感じました。
- 議会とはどのようなものなのかを実際に近くで見えて、聞いて、体験することができ、大変素晴らしい経験となりました。
- 厳粛とした雰囲気の中、他校の生徒が堂々と発言している姿を見て、自分が目指すべき目標ができました。

公共交通機関の整備(見直し)

高梁日新高校2年 黒川 雄大

バスで通学していますが、午後6時以降のバスがないため、午後7時ごろまである部活動を早めに切り上げて帰宅しています。最後まで練習することができるよう、午後7時以降もバスを運行することに加え、土・日曜日の運行本数を増やすことは可能でしょうか。

また、高齢者が運転免許を自主返納したくても、交通手段がなく生活に支障をきたすという報道を見ました。高梁市にもこのような高齢者が多くいると思います。バスの運行を見直すだけではなく、市内を循環する乗り合いタクシーなどさまざまな交通手段を提供することで安心して生活できるのではないのでしょうか。

また、公共交通について関係機関が話し合う「公共交通会議」のなかでも、公共交通に対するさまざまなニーズを把握し、事業者の状況や人口減少などを踏まえたうえで議論を行っています。

高齢者の運転免許の自主返納についてですが、市内では運転免許保有者の約3人に1人が65歳以上です。高齢者や運転免許を持たない人が便利に生活していくために、どのように交通体系を維持していけばいいのかを考えていく必要があります。また、岡山県では、65歳以上の人々が運転免許を自主返納した際にさまざまな特典を受けることができます。「おかやま愛カード」制度を実施しています。

公共交通は利用者が少ないと維持できないため、地域の皆さんが利用するための良い方法を考える必要があると思います。現在、「高梁市地域公共交通網形成計画」の2次計画策定に向けて取り組んでいます。高梁市の皆さんが利用しやすいバスの運行も含めて、一番有効な手段は何かということをご一緒に考えていきたいと思っています。



黒川 雄大 議員
(高梁日新高校2年)



早川 明来 議員
(高梁高校2年)



佐藤 弘樹 議長
(高梁高校2年)